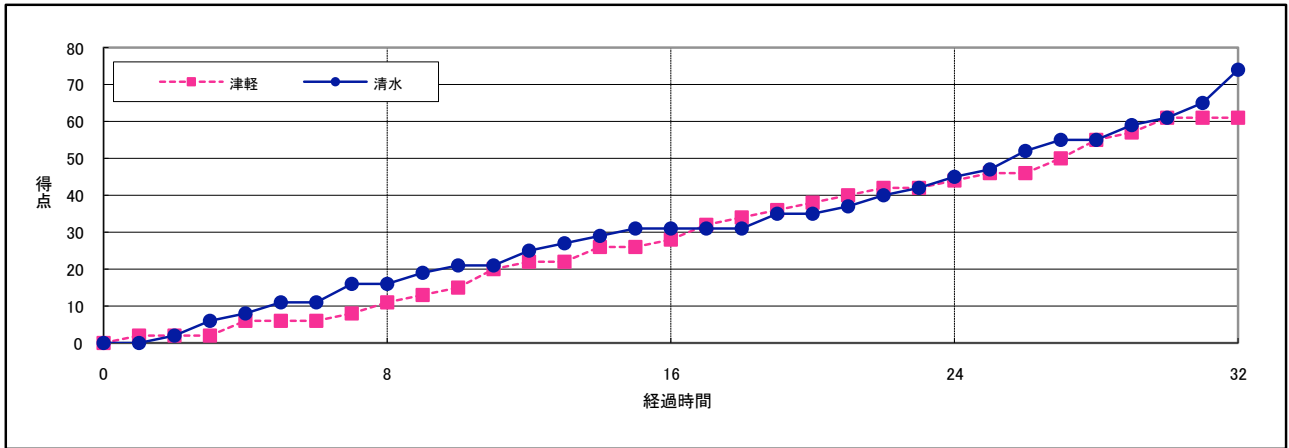


平成21年度全国中学校体育大会
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	3日目 男子 Cコート第2試合 決勝トーナメント準決勝			
日時	8月22日(土)		10:50 ~	
会場	鹿児島アリーナ			
結果	津軽	61	74	清水 鹿児島
審判	主審 蒲 健一		副審 飯塚 勝	



【個人トータル表】

×=スターティングメンバー / =出場選手

空欄=出場なし

津軽							
No.	選手氏名	P1-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	成田 穂高	×	17	1	6	2	3
5	野里 惇貴	×	16	2	4	2	2
6	塩 越 琳	/	0	0	0	0	0
7	渋谷 貴大	×	8	0	4	0	4
8	木村 慎之介	×	10	0	5	0	1
9	中野 宥斗	/	0	0	0	0	0
10	最上 耕吉	×	4	0	1	2	5
11	小田 桐 匡志	/	6	0	3	0	2
12	太田 泰雅						
13	成田 陸						
14	阿保 雄人						
15	神 芳 行						
16	佐藤 浩陽						
17	八木 橋 省也						
18	齊藤 優弥						
監	葛西 孝司						
C	小野 寿昭						
合計			61	3	23	6	17

清水							
No.	選手氏名	P1-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	松下 剛介	×	11	0	4	3	4
5	玉寄 国章	×	14	1	4	3	1
6	窪田 溪之	/	0	0	0	0	0
7	楠元 龍水						
8	川畑 仁悠						
9	森 大 樹	×	15	0	6	3	0
10	瀬戸口 陽						
11	木戸 祐輔	/	3	1	0	0	0
12	中園 健悟						
13	金子 熙	×	12	0	6	0	2
14	野間 進太郎	×	19	2	3	7	2
15	岡元 浩亮						
16	戸高 七央斗						
17	源川 翔太						
18	朝倉 栄紀						
監	川添 裕司						
C	日高 佳子						
合計			74	4	23	16	9

3 P = 3ポイントシュート 2 P = 2ポイントシュート FT = フリースロー

男子準決勝Cコートは、津軽中学校(青森県)と清水中学校(鹿児島県)の対戦となった。第1P、先制は津軽#4のミドルシュート。対する清水も#6のコーナーからの2Pシュートで初得点をあげる。その後清水は#13リバウンドショット、#9のインサイドでの攻撃で得点を重ねる。一方、津軽は#5がフェイスガードをされ、なかなかオフェンスのリズムが作れないが、津軽#10の2Pシュート、#8のバスケットカウントで追撃する。4分経過後、清水は#14の3Pシュート、#9のバスケットカウントを含む10得点をあげる。津軽も第1P終了間際に津軽#4のロング3Pシュートが決まり、津軽11-16清水と清水5点リードで第1Pを終える。

第2P立ち上がり、津軽は#7のリバウンドショットで先制するとディフェンスのプレッシャーを強める。これに対して清水は落ち着いてボールをまわし、清水#14の3Pシュートなどで応戦する。ここから津軽は#5のフリースローと3Pシュートの連続得点で流れをつかみかける。しかし清水も#14、#4がドライブを決め流れを渡さない。津軽は残り3分を切ったところでタイムアウトを要求。タイムアウト後、津軽は#7のバスケットカウント、#5のミドルシュートなどで反撃を見せると、残り15秒には津軽#5がリバウンドショットを沈め、津軽28-31清水と津軽が点差を縮めて前半を終える。

第3P、最初に流れをつかんだのは津軽。津軽#4のフリースローから#5、#7と連続で得点し一気に逆転する。一方清水は津軽のゾーンディフェンスを攻めあぐね、フリースローでの得点しかできない苦しい展開になる。後半流れをつかんだ津軽は#8、#11が積極的に1対1を仕掛け得点を重ね、残り2分半、津軽42-37清水となったところで清水はタイムアウトを要求。その後、清水は津軽のゾーンディフェンスに対し強い攻撃を見せ始め、清水#5の3Pシュート、#4のドライブインで同点とする。津軽は残り1分、#4のドライブインで再度リードを奪うも、清水も#4のフリースロー、#13のリバウンドショットで再度逆転し、一進一退の展開となった第3Pは津軽44-45清水、清水1点リードで終える。

第4P、津軽はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え勝負をかける。清水は#5のドライブイン、途中交代の清水#11の3Pシュートなどで点差を開きにかかるが、津軽は#4のスティールからの得点、#8の連続得点、#5の3Pシュートで残り4分、津軽55-55清水の同点とし試合を振り出しに戻す。その後はお互いに譲らない展開が続き、第4P、残り2分を切ったところで清水#9のリバウンドショットが決まって津軽61-63清水となったところで津軽がタイムアウトを要求。タイムアウト後、清水は#4のドライブイン、残り1分には#13のミドルシュートが決まり点差を6点とする。津軽はその後ファウルゲームを仕掛けるが清水は落ち着いてフリースローを沈めそのまま試合終了。最終スコア津軽61-74清水となり、清水は初の決勝戦進出を決めた。